

# 食べものが劣化する日本：命をつむぐ

## 種子と安心な食を次世代へ



講師：安田節子（やすだ せつこ）さん

1990年代 日本消費者連盟で反原発運動 食の安全と食糧農業問題を担当。1996年から2000年 市民団体「遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン」事務局長。現在「食政策センタービジョン21」主宰 NPO法人「日本有機農業研究会」理事

「かつて日本は、食品公害事件を教訓に、世界でも厳しい食品安全規制が行われている国でした。しかし、農産物輸出大国である米国は、日本に農産物の輸入拡大と農薬などの食品安全規制の緩和を要求し続けてきました。国際的には、農薬や遺伝子組み換えなどによる健康や環境への影響が明らかになり、規制や禁止する国々が広がっています。それに逆行して、日本の食品行政が規制緩和を続けていることは非常に大きな問題です」(安田節子著『食べものが劣化する日本』食べもの通信社)。日本の食べものがおかしくなっています。米国の言いなりで貿易自由化を推し進めて自国の農林水産業を崩壊させ、他方ではアグリビジネスなど巨大食品企業の利益を最優先する食料政策が続いています。そのため今日の日本は「世界の残飯市場」(途上国などで認可されない危険で汚い食品が円高の日本へなだれ込んでくる)だとおっしゃる専門家もいます。今回は「食の問題」に詳しい安田節子さんにおいでいただき「食べものが劣化する日本」をテーマに、今日の日本の「食」の生々しい実態と、その改善・解決策をお話していただきます(なお、当日は最初の1時間弱で主催者側からのプレゼンを予定しています)。

**5月27日(水) 18時～21時(開場17時30分)**

会場：スペースたんぽぽ 参加費(資料代含む)：800円(学生400円)

たんぽぽ舎のあるダイナミックビルの4階 JR水道橋駅西口から5分：水道橋西通りを神保町方面に向けて左折し、グローバルスポーツビル、GS跡地(セブンイレブン)を過ぎて鉄建建設本社ビルを過ぎたら左折。

東京都千代田区神田三崎町2-6-2 tel 03-3238-9035 fax 03-3238-0797

Email: [nonukes@tanpoposya.net](mailto:nonukes@tanpoposya.net) URL: <http://www.tanpoposya.com/>

